

「時代をアプリで乗り越える」

iOSアプリ開発研修講座を開設いたします！

～ご挨拶～

今回iOS開発の講座を募集することになりました、梅田制作の梅田です。

AIが急速に台頭し、社内外のDX化が急務になっている昨今。

企業を成長させるDX化の本質は、テクノロジーを使って既存事業に新しい市場での競争力を与える為の技術の習得、活用にあります。

日本特有の、「ITは外部発注」という概念を取り払い、

中小企業でも内部でサービス開発と改善を推し進めていく

オンプレミスの体制を整えていくことで、

成熟したサービスに新たな活躍の場を与えられる…。

今回そのような人材を育てる場を提供したく、

「企業の根本的な成長力を育てる」講座を準備させていただきました。

～講座の主な内容～

今回の講座の大きな目的は、

「モバイルアプリ開発で貢献する人材を育てる」

ことです。

～人材育成カリキュラム～

1. Swift言語基礎文法

2. SwiftUIを使ったUIパーツ開発

3. 画面遷移

4. ObservableObjectクラスによるMVVM状態管理

5. 効率的に開発する技法の理解

6. JSONを使ったAPI通信

7. Firebaseを活用したアプリ開発

8. 会社に役立つアプリを開発する

～特別講座～

ミドルウェアFlutterを使って

マルチプラットフォーム開発を

してみよう！



ご興味のある企業様は下のe-mailまでご連絡ください。

株式会社梅田制作 e-mail:contact@umeda-seisaku.com

～カリキュラムの内容（前期）～

週6回2時間のオンライン指導で
会社のDX化に貢献するアプリ開発を学んでいきます。
カリキュラムの内容と詳細を紹介いたします。

1

Swift言語 基礎文法

Apple Storeに公開できるアプリを制作するためには、専用のプログラミング言語について学ぶ必要があります。Swift言語の基礎を学んで開発力の基礎を固めましょう。

2

SwiftUIを使った UIパーツ開発

Swift言語を使って開発を行なっていきます。アプリはなんといってもまずは見た目が大切。UI (User Interface)、すなわち画面のパーツを作成しながら開発のイメージを掴みます。

3

画面遷移

画面を作れるようになったら、あとは画面から画面へ遷移（移動）するプログラムを組む必要があります。画面遷移には3つ～4つの方法があり、それぞれの方法を理解することで機能性の高いアプリの開発を行うことができます。

4

MVVM状態管理

画面を移動できるようになったら、あとはデータを保存する方法を理解して基礎的なアプリの学習はひと段落します。MVVM (Model-View-ViewModel) 手法を使ったデータ管理について主に学習していきましょう。



ここまででSwift言語および開発の基礎学習は終了です。UI（ユーザーインターフェイス：アプリの見た目）のデザインや、基本的なアプリのデータ構造についての学習は、丁寧に理解しようとする時間がかかってしまうのも事実です。しかし、「知識」が「スキル」に変わっていく瞬間を実感できれば、社内外のDX化に向けて大きな一歩を踏み出した、と言っても過言ではありません。

カリキュラムの後半では、効率的に開発を行う方法を学ぶとともに、クラウド上でのデータ管理やHTTP（インターネット）通信のハウツーを学んでいきます。



後期に続きます

～カリキュラムの内容（後期）～

5

効率的開発技法

効率的開発に必要な知識は、基本的に開発経験年数に応じて自然に増えていきます。しかし、初めからいくつかのポイントを押さえておけば、工数にかかる時間や手間を大幅に削減できます。生産性UPを目指して要点を押さえていきましょう。

6

JSON API通信

JSON(JavaScript Object Notation)形式のファイル情報の交換をHTTP通信を利用して行う学習を進めていきます。JSONを自由に使いこなせるようになれば、情報をインターネット上の様々なところから取り出し活用できるため、ダイナミックなアプリ開発ができるようになります。

7

Firebaseアプリ開発

Firebaseのクラウドインフラを利用したデータの一元管理の手法を学習します。Firebaseを利用することで、ユーザー情報の管理を効率的に、また安全に行うことが可能です。アプリのスケイラビリティ（拡張性）を確保し、サービスを大規模に展開していく上でも必須の上級知識です。

8

会社に役立つ アプリを開発する

会社に役立つアプリを実際に開発するOJTを実施します。プログラミング学習においてOJTとOff-JTの区別は難しいですが、やはり開発したプロダクトが実戦を想定しているか、またその利用が行われているかがポイントだと考えます。そこで、カリキュラムの最後に実際の利用を想定した自社開発アプリを講座参加者で開発していきます。

半年間のカリキュラムはここで終了です。後半に入ると、基礎的な能力をどのように巧く運用していくか、加えて、比較的難しい技術とされるインターネット通信について学習していきます。

カリキュラムの最後に、会社の役に立つアプリを開発します。これを持ちましてすべてのカリキュラムは終わりになりますが、ここまでをやり切った受講生の皆さんが、中長期的に地元地域をITで支えられる人材になることを期待するとともに、カリキュラムのご紹介を以上とさせていただきます。ご興味のある企業様、ご連絡お待ちしております！

ご興味のある企業様は下のe-mailまでご連絡ください。
株式会社梅田制作 e-mail:contact@umeda-seisaku.com

講習料などの詳細は次のページ

講習料および受講形式

一人当たりの講習料および講習時間

	1日分の 一人当たり 合計講習 時間	1日分の 一人当たり 受講料	1週間の 一人当たり 合計講習 時間	1ヶ月の 一人当たり 受講料	1ヶ月の 一人当たり 合計講習 時間
1ヶ月目	2時間	4167円	12時間	100000円	48時間
2ヶ月目	2時間	4167円	12時間	100000円	48時間
3ヶ月目	2時間	4167円	12時間	100000円	48時間
4ヶ月目	2時間	4167円	12時間	100000円	48時間
5ヶ月目	2時間	4167円	12時間	100000円	48時間
6ヶ月目	2時間	4167円	12時間	100000円	48時間
合計		2時間×週6日 で計算		600000円 (/1人)	288時間

※週6回×2時間のカリキュラムで提案させていただいております。
細かな変更をご希望の際はお申し付けください。

～受講形式についての詳細～

- ①受講方式は、ほとんどの場合オンラインでの通信を利用して行っています。
- ②責任者様への進捗報告に関しましては、SNSおよび定期的に報告書を通じてお知らせいたします。
- ③必要な備品としまして、MacOSを搭載のラップトップ型コンピュータを受講者につき一台ずつご用意くださいますようお願い致します。

梅田制作は、宮崎・大阪を中心にウェブサイト制作や動画制作、デザイン、システム開発を行っている会社です。

「常に成長、共に改善、愛のあるWeb制作を。」をモットーに、お客様の強みやこだわりをわかりやすく伝え、困っていることを解決できるウェブサイトを、お客様との二人三脚で制作しています。

Web関係の「困った！」を即座に解決する、お客様の「身近なWeb担当者」として、どんなことでもご相談を受け付けております。

担当：梅田 contact@umeda-seisaku.com